

景観形成重点地区

◇ 都心軸沿道地区/西川緑道公園筋・枝川筋沿道（該当する場合のみ添付）

事項	景観形成基準	チェック	計画・配慮した事項	備考
形態	1. 街並みに調和し、洗練された落ち着いた のある外観の形態とする			
意匠	1. 街並みに調和し、洗練された落ち着いた のある外観の意匠とする 2. シャッターは設けないか、パイプ製シ ャッター等の開放的なものとする 3. 工作物・設備は、直接目に触れない		シャッター（有・無） 形状 色調（マンセル値）	
壁面の 位置の 制限	（※西川緑道公園筋・枝川筋の境界から） 1)敷地面積 $\geq 250 \text{ m}^2$ ○3階建て以下の建物 ・1F $\geq 1.5\text{m}$ ○4階建て以上の建物 ・1F $\geq 2.5\text{m}$ ・2F以上 $\geq 1.0\text{m}$ 2) $150 \text{ m}^2 \leq$ 敷地面積 $< 250 \text{ m}^2$ ・1F $\geq 1.5\text{m}$ 3) 敷地面積 $< 150 \text{ m}^2$ ・1F $\geq 1.0\text{m}$ 4) 壁面後退の特例 ・西川緑道公園筋・枝川筋側の間口 \times 後退 距離以上の面積の空地、もしくは、一般 開放した屋上広場が1階の必要後退面 積以上の空地 ※敷地面積が 250 m^2 以上、かつ、4階建て 以上の建物は、全ての階 $\geq 1.0\text{m}$		壁面後退距離（1F m） 壁面後退距離（1F m） 壁面後退距離（2F m） 壁面後退距離（1F m） 壁面後退距離（1F m） (m) \times (m) A= (m^2) 壁面後退距離 (m)	
素材 材料	1. 外装材は耐久性が高いものとし、光な どが強く反射する外装材は使用しな い			
敷地の 緑化	1. 積極的な植栽を行う 2. 壁面後退空地は歩道部分と調和がとれ た修景とし、植栽配置を工夫し、歩行 者通行空間を確保 3. 隣接地と連続した歩行者空間を確保			
かき さく 塀等	1. 沿道沿いは、かき、さく、塀等を設け ない 2. 壁面後退区域の隣地境界線沿いのか き、さく、塀等は大きく沿道から後退 3. 高さ、材質、色調に配慮した開放的な もの			